

姫路独協大学薬学部

令和5年9月1日

前期FD活動

新しい本学の薬学教育カリキュラムの編成

化学領域

阿部 肇、山中 理央、齋藤 一樹、兒島 憲二
岡村 恵美子、原野 雄一、中村 隆典、村重 諒、
長久保 大輔、川井 真好



①問題解決型科目について：

✓ 現カリキュラム

1. PBL：7科目 ☞ 7単位
 2. 卒業研究：2単位（I）、4単位（II） ☞ 6単位
 3. 学生実習：13科目（問題解決型とするとレポート作成に該当する0.25単位/科目と計算） ☞ 3.25単位
 4. 総合演習A：PBL部分 ☞ 0.5単位
- 合計 16.75単位 しかし、18単位以上の確保が必要（2023.3のFD活動）

✓ 新カリキュラム（案）

1. PBL：7科目 ☞ 7単位
 2. 卒業研究（4年次より配属として）：2単位（I）、2単位（II）、4単位（III） ☞ 8単位
 3. 学生実習：13科目（問題解決型とするとレポート作成に該当する0.25単位/科目と計算） ☞ 3.25単位
 4. 総合演習A：PBL部分 ☞ 0.5単位
- 合計 18.75単位

コメント、意見、提案をお願いします。

- ・卒業研究を4年から開始には賛成
- ・模擬薬局実習を通年にすることにも賛成
- ・講義科目でも問題解決型の内容（演習型）に変更する

②各領域の科目について：

学年移動、削除、の必要な、可能な科目とその理由を列記してください。

- ・科目を削除するよりも**単位数を減らす**のはどうか？（2単位科目を1単位にする）

→有機化学Ⅲ、医薬品製造学

⇒**単位数を減らすことで講義の弾力性が上がる。**（教える内容、講義数、テストの時期など）

⇒教える内容を減らすことには踏み込みづらい。

- ・あらゆる実習を通年にしてしまうのはどうか。（可否について要確認）

- ・実習科目で動かせるものは動かす方針。⇔動かせない実習もあるので

- ・**動かせる実習科目**：2年前期へ（有機化学、生薬学）、2年後期へ（衛生薬学）

- ・**動かせない実習科目**：物理化学実習、分析化学実習

※実習は現行の開講期（前期、後期）を変えない方が良い

- ・移動できる講義科目：医薬品製造学（有機化学Ⅳに名称変更希望）を3年前期

天然物化学を3年後期（医薬品製造学の後で天然物化学を教えた方がやりやすい）

- ・病原微生物学（現状選択科目）は感染症等の社会的要請が高いため、必修科目に変更したい。

③新コアカリキュラムへの対応：

A) 新DP6（情報・科学技術を活かす能力）への対応策として

- 1年次全学共通科目のうち、これまで選択としていた「情報処理基礎演習I、1単位」「情報処理概論、2単位」を必修化
- 実習（演習）科目の新設として「データサイエンス実習（仮）、1単位」を3年次後期に新設
- 6年次選択科目であった「薬剤疫学」を必修化

B) 科目を一定数圧縮が必要、むやみに増やさない工夫

- 「データサイエンス実習（仮）」を新設するため、従来の薬剤学実習と薬物動態学実習を統合し「薬剤学実習、1単位」とした
- 「日本薬局方、15コマ、2単位」の必要性に疑問があるとの議論（R04.3.7FD活動）より、「日本薬局方」を解消し、「先端薬剤学（仮）」として8コマ、1単位に再編

今のところなし

姫路独協大学薬学部

令和5年9月1日

前期FD活動

新しい本学の薬学教育カリキュラムの編成

生物領域

通山由美、田畑裕幸、柴田克志、酒井伸也
矢上達郎、山本泰弘、関 貴弘、角山圭一
(欠席者) 山本直樹、寺田一樹



①問題解決型科目について：

✓ 現カリキュラム

1. PBL：7科目 ☞ 7単位
 2. 卒業研究：2単位（I）、4単位（II） ☞ 6単位
 3. 学生実習：13科目（問題解決型とするとレポート作成に該当する0.25単位/科目と計算） ☞ 3.25単位
 4. 総合演習A：PBL部分 ☞ 0.5単位
- 合計 16.75単位 しかし、18単位以上の確保が必要（2023.3のFD活動）

✓ 新カリキュラム（案）

1. PBL：7科目 ☞ 7単位
 2. 卒業研究（4年次より配属として）：2単位（I）、2単位（II）、4単位（III） ☞ 8単位
 3. 学生実習：13科目（問題解決型とするとレポート作成に該当する0.25単位/科目と計算） ☞ 3.25単位
 4. 総合演習A：PBL部分 ☞ 0.5単位
- 合計 18.75単位

実習の実施時期は今と変更しない方がいいという意見が多かった。

病態解析学実習を模擬薬局実習に組み込んだらいいのではないか？という意見が挙がった。ただ、担当教員に確認したところ、保健学科の先生も担当に入っている実習であり、模擬薬局実習に組み込むのは難しいのでは？という意見であった。

②各領域の科目について：

1年生の全学共通科目である身体の科学Ⅰ、身体の科学Ⅱは、必須を外すことで必要単位を減らすことはできるのでは？（1年生の基礎生物学、機能形態学、2年生の生理学と内容が重なるため）

薬学部だけの判断で決めれないが、身体の科学Ⅱは無くしてもいいのでは？

3年生後期の分子生物学Ⅱを2単位から1単位への変更（検討中）。

4年生後期の医療遺伝学は6年生に変更（検討中）。

4年生の「診断治療学」（1単位）と「臨床医学各論」（2単位）を併合して、新たに「病態・薬物治療学」（2単位）という科目とし、1単位減らすことはできるのでは？

③新コアカリキュラムへの対応：

A) 新DP6（情報・科学技術を活かす能力）への対応策として

- 1年次全学共通科目のうち、これまで選択としていた「情報処理基礎演習I、1単位」「情報処理概論、2単位」を必修化
- 実習（演習）科目の新設として「データサイエンス実習（仮）、1単位」を3年次後期に新設
- 6年次選択科目であった「薬剤疫学」を必修化

B) 科目を一定数圧縮が必要、むやみに増やさない工夫

- 「データサイエンス実習（仮）」を新設するため、従来の薬剤学実習と薬物動態学実習を統合し「薬剤学実習、1単位」とした
- 「日本薬局方、15コマ、2単位」の必要性に疑問があるとの議論（R04.3.7FD活動）より、「日本薬局方」を解消し、「先端薬剤学（仮）」として8コマ、1単位に再編

疾患薬理学と病態・薬物治療が同じタイミングで行われるため、内容をすり合わせて実施する。新コアカリでは薬理と病態が一緒になっているため、内容をすり合わせて行うことで、コアカリ対応に繋がる。

姫路独協大学薬学部

令和5年9月1日

前期FD活動

新しい本学の薬学教育カリキュラムの編成

応用領域

柳澤 吉則、若林 千里、蓮元 憲祐、加藤 史恵
柳澤振一郎、増田智先、寺岡 麗子、中山 優子



①問題解決型科目について：

✓ 現カリキュラム

1. PBL：7科目 ☞ 7単位
 2. 卒業研究：2単位（I）、4単位（II） ☞ 6単位
 3. 学生実習：13科目（問題解決型とするとレポート作成に該当する0.25単位/科目と計算） ☞ 3.25単位
 4. 総合演習A：PBL部分 ☞ 0.5単位
- 合計 16.75単位 しかし、18単位以上の確保が必要（2023.3のFD活動）

✓ 新カリキュラム（案）

1. PBL：7科目 ☞ 7単位
 2. 卒業研究（4年次より配属として）：2単位（I）、2単位（II）、4単位（Ⅲ） ☞ 8単位
 3. 学生実習：13科目（問題解決型とするとレポート作成に該当する0.25単位/科目と計算） ☞ 3.25単位
 4. 総合演習A：PBL部分 ☞ 0.5単位
- 合計 18.75単位

- ・ 卒業研究を4年から開始には賛成
- ・ 模擬薬局実習を通年にすることにも賛成

②各領域の科目について：

敬称略

- 柳澤（振）担当：科学の原理（1年後期全学共通,2単位）と生物統計学（2年前期専門,1単位）を統合し、生物統計学（2年前期専門,2単位）に集約可能
- 柳澤（吉）担当：実務実習事前特別講義（4年前期,2単位）とセルフメディケーション論（4年後期、1単位）は模擬薬局実習（通年）内に吸収可能
- 日本薬局方（3年後期,2単位）、薬剤設計学（4年後期,1単位）を統合し、臨床薬剤設計学（仮）（6年前期,2単位）として再設定する（担当：寺岡、増田、阿部）：特に実務実習終了後の学生を対象
- 医療倫理（1年前期,2単位）については、同時期に生命倫理（生命の大切さ）が並行して開講されるため、4年前期へと移動（高学年において倫理面への造詣を深める目的）

③新コアカリキュラムへの対応：

A) 新DP6（情報・科学技術を活かす能力）への対応策として

- 1年次全学共通科目のうち、これまで選択としていた「情報処理基礎演習I、1単位」「情報処理概論、2単位」を必修化
- 実習（演習）科目の新設として「データサイエンス実習（仮）、1単位」を3年次後期に新設
- 6年次選択科目であった「薬剤疫学」を必修化

B) 科目を一定数圧縮が必要、むやみに増やさない工夫

- 「データサイエンス実習（仮）」を新設するため、従来の薬剤学実習と薬物動態学実習を統合し「薬剤学実習、1単位」とした
- 「日本薬局方、15コマ、2単位」の必要性に疑問があるとの議論（R04.3.7FD活動）より、「日本薬局方」を解消し、「先端薬剤学（仮）」として8コマ、1単位に再編

- 薬剤学実習と医療薬剤学実習を統合し、薬剤学実習（寺岡、増田）（3年前期,1単位）として再設定する。
- 新たにデータサイエンス実習（3年後期,1単位）の実習科目を新設：新DP6に対応する実習（演習）科目
- 臨床試験管理学（4年後期,1単位）を選択科目から必修化：新DP6への対応
- 薬剤疫学（6年前期,1単位）を選択科目から必修化：新DP6への対応
- 「臨床体験（仮）」を、現在の早期臨床体験（1年前期,1単位）に加え、2、3、4、6年次においても実施できる科目を新設し、多職種連携に関する科目を充実させる：新DP9への対応